

放射性物質除染マニュアル

大磯町では、学校や公園など子どもたちが集まる場所について、空間放射線量の測定を行っており、子どもたちが長時間過ごす生活空間については、 $0.23 \mu\text{Sv/h}$ を測定の日目安とし、測定の日目安を超えた場合には除染等の対応を行っています。

測定の高さ	測定の日目安
地上 1 m	$0.23 \mu\text{Sv/h}$
地上 50 cm	
地上 1 cm	

※大磯町における除染の日目安は、環境省の考え方に基づき定めたものです。

■ 留意事項

- ・ 私有地の除染等は、所有者が行うことになり、町では行いません。
- ・ 町では、私有地の除染作業等により生じた土砂や落葉などを引き取ることはできません。また、除染に伴う費用を負担することや、除染を行う業者についての紹介もできません。
- ・ 周辺より放射線量の高い箇所（地表から 1 m の高さの空間放射線量が $1 \mu\text{Sv/h}$ 以上の高い数値）が計測された場合は、環境美化センター（Tel:72-4438）に連絡してください。

■ 除染方法

（1）服装について

長袖、長ズボンマスク、ゴム手袋、長靴等を着用し、できるだけ肌の露出を控えてください。

（2）除染作業について

① 地表面（土壌、苔、芝等）

- ・ 地表面の汚染は、表層 1～2 cm の土壌や植物類を取り除けば、放射線量は大幅に低減されます。
- ・ アスファルトやコンクリートが汚染されている場合には、表面の砂や苔を取り除きます。また、必要に応じて、ブラシや高圧洗浄機を使用します。

- ・ 取り除いた土などは、敷地内に穴を掘り、雨などに流されないようにビニール袋に入れ、埋めます。

② 側溝まわり

- ・ 泥土や枯葉を取り除くことによって、線量を低下させることができます。また、必要に応じて、ブラシや高圧洗浄機を使用し、付着泥土を洗い流すことで、線量はさらに低下します。

③ 雨どいの下

- ・ 雨水の流れに沿って、表層の土壌や植物類を取り除くことで、放射線量は低下します。

(3) 除染した土壌や落ち葉等の処理

除染によって除去した土壌等については、遮水効果のある袋等に入れ、覆土したうえで埋設や飛散・流出防止の措置を取ったうえで、ご自身の敷地内で保管してください。

※ 覆土による放射線遮へい効果

覆土の厚さ (土の厚さ)	放射線遮へい効果
5 cm	51%減
10 cm	74%減
15 cm	86%減
30 cm	98%減

(生活空間における放射線量低減対策の手引き (第2版) (福島県発行)より転載)